

【冬本番】「雪かき」や「給湯器の音」が火種に？

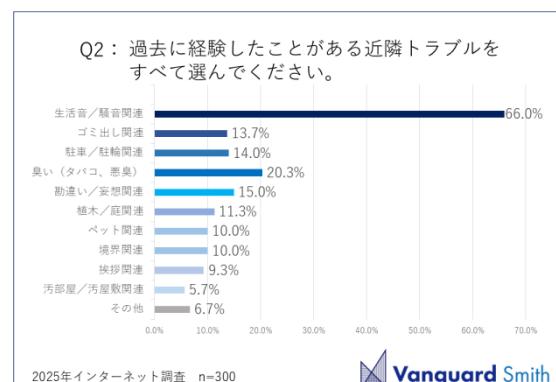
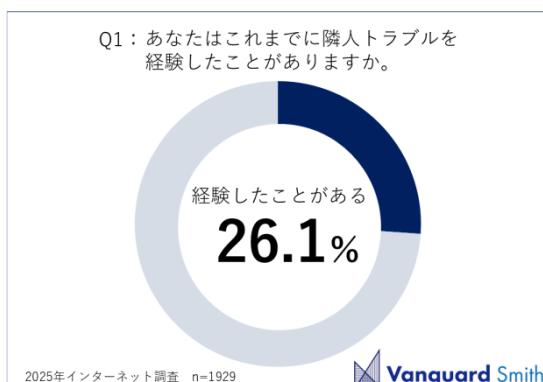
寒い日こそ注意したい！“冬の近隣トラブル”最前線

冬本番を迎える、暖房器具や給湯器が欠かせない季節となりました。雪が降る地域も増え始める今、『寒さ対策』が、思わぬ近所トラブルの引き金になることがあります。今回は、近隣トラブル解決支援事業を展開するヴァンガードスミスが、寒い日こそ注意したい“冬の近隣トラブル”についてご紹介します。

■この時期から、全国で増え始める“冬の近隣トラブル”

・冬に増加する近隣トラブルとは？

ヴァンガードスミスの調査によると、近隣トラブル経験者は約4人に1人（26.1%）。過去経験した近隣トラブルの第1位は「騒音」（66%）ですが、冬はこれに加えて特有のトラブル相談が増加する傾向があります。

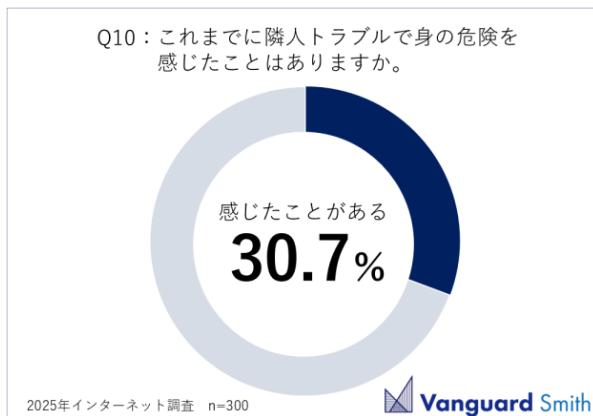


冬に増加するトラブルとは「雪かき」や「暖房器具」「給湯器」に関するものが主です。これらは「生活に必要な行動」や「気候・天候」が原因のため、当事者（使用者）に悪気がないケースや気付いていないケースも多く、自身では解決が難しい側面があります。

- ・“悪気ナシ”が事件化する危険も

トラブル経験者の約3人に1人(30.7%)が「身の危険を感じた」と回答。感情的な対立を生み、事件に発展する可能性も0ではありません。

悪気のない行為がトラブルを生み、事件に発展させないためには、どのように対処すればよいのでしょうか?



■実際にあった冬の近隣トラブル事例

事例①：雪かきの報復合戦

契約している駐車枠に雪が積みあがっている。隣の駐車枠を契約している近隣の入居者が雪かきしているところを見かけており、もしかしたらその人が捨てた雪が積みあげているかもしれないという相談。

►該当の入居者に確認したところ、昨年自分が同じことをされてやり返してしまったとのこと。両者に配慮を依頼したことでトラブルは収束

⇒第三者が入ることで背景が分かり収束したパターン

事例②：暖房のブーン音

隣の部屋から機械音のような「ブーン」という音が聞こえることがある。22時以降に聞こえることが多く、早く寝るときは少し困るので何の音なのか気になるという相談。

►該当の入居者に確認したところ、以前室外機から異音が鳴っていたことがあり、修理をし、室外機の下に防音マットを敷くなど対策をしていることが判明。その旨を相談者に報告すると、相談者は納得し収束。

⇒相手の配慮が分かったことで納得して収束したパターン

事例③：給湯器の異音

お湯を使うたびに、隣の部屋からドンドンと壁を叩かれる。理由が分からないので困っているとの相談。

►該当の入居者に確認したところ、相談者側の給湯器が作動するたびに異音を発しており、その音が隣に振動して伝わっていたことが判明。給湯器を修理し収束。

⇒当事者（使用者）が気づけなかった騒音の要因が判明したことで改善を図り収束したパターン